

令和7年4月6日

学校法人和風会
多摩リハビリテーション学院専門学校
学院長 林 義巳 殿

学校関係者評価委員会
委員長 鈴木 康雄

学校関係者評価のご報告

令和6年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告いたします。

記

1. 学校関係者評価委員

委員長：鈴木康雄（医療法人社団和風会リハビリテーション部長）

委員：池田健祐（所沢リハビリテーション病院 技士長）

奥山浩太（所沢中央病院 技士長）

加藤哲禎（老人保健施設メディケア梅の園 事務長）

高木博之（所沢リハビリテーション病院 事務長）

竹田陽介（多摩リハビリテーション病院 技士長）

人見太一（杏林大学保健学部）

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会：令和7年3月17日（月）〔自己評価報告と依頼〕

第2回委員会：令和7年3月29日（土）〔メールにて各委員からの評価結果集約〕

3. 学校関係者評価 結果報告

別紙のとおり

以上

令和6年度 学校関係者評価 結果

重点目標

テーマ：全学科定員充足、国家試験全員合格に向けて

1. 入学者の定員充足、2. 国家試験合格率 90%、3. 退学者の減少（退学率 5%）

評価基準1：教育理念・目標

☐ 適切である

コメント

貴校の教育理念・目標は、医療福祉の精神と求める人材像が明確で高く評価できます。特に、令和6年度の4つのポリシーは多様な学生への姿勢を示し、情報公開も積極的です。

しかし、学生の多様化に伴い、特別な支援を要する学生へのサポート体制強化が急務です。支援スタッフ増員や個別対応の充実を早急に検討し、全ての学生が安心して学べる環境整備を望みます。

また、情報公開は詳細ですが、形式的で堅苦しい印象を与えるため、より分かりやすく親しみやすい表現が必要です。

さらに、留学生への指導、保護者との連携、4つのポリシーの共有と人材育成も重要です。オンライン説明会等の試みは評価できるため、教育環境の充実と多様なニーズへの対応に期待します。

評価基準2：学校運営

☐ 概ね適切である

コメント

貴校の学校運営は概ね適切です。PortalSite 導入による業務効率化や法令遵守、情報公開は組織の透明性と信頼性を高めています。教職員間の情報共有と一体感のある運営も評価できます。

一方で、情報システム化による業務効率化には改善の余地があります。電子化による業務量増加やシステム見直しなど、具体的な改善策が必要です。雇用契約規程の整備や業務フロー・意思決定システムの見直しも効率化に繋がる可能性があります。

組織整備や意思決定システムの周知徹底も重要です。情報伝達の確実化と組織全体の理解・協力を促進する必要があります。学院長や事務長との個別面談による意見交換や相談機会は、組織コミュニケーション強化に有効です。

ICT 活用はハード面整備が進む一方、学外学習指導での活用も期待されます。教職員の ICT 活用状況把握や研修・サポート体制整備も重要です。

評価基準3：教育活動

☐ 適切である

コメント

教育活動は、学生ニーズに応じた教育方針の明確化、実践的な職業教育、実習や業界連携など多岐にわたり高い評価を得ています。特に、4つのポリシー見直しは教育の質向上と学びの成果明確化に貢献しています。

一方で、学生像の多様化に伴い、非常勤教員マネジメント、先端知識・技能習得、教員負担軽減が課題です。国家試験対策における教員負担軽減策として、法人内職員との連携強化は有効です。また、特別支援学校教員を招いた研修など、多様な学生に対応するための教職員の能力開発も重要です。

学生スキルに合わせた教育は評価できますが、入試制度変更や留学生増加により学力・学習意欲の個人差が広がる可能性があります。個々の能力に合わせた学習指導と早期からの国家試験対策が求められます。

授業評価アンケートは教育改善に繋がる重要な取り組みです。今後は、アンケート結果を踏まえ、外部講師を招いた研修など、教職員の質的向上に向けた取り組みを積極的に進める必要があります。

評価基準4：学生指導等

☐ 適切である

コメント

学生指導等は、カウンセリング体制の充実、発達障害疑い学生への支援、安全管理体制整備など多岐にわたり適切です。特に、常勤カウンセラー配置は学生の心のケアに大きく貢献しています。

発達障害疑い学生への合理的配慮は、学生の個性を尊重し潜在能力を引き出す上で重要です。今後は、合理的配慮の基準明確化と学生・教職員間の共通理解深化により、より効果的な支援体制構築が期待されます。

学生の主体的な生活習慣確立と安全管理体制整備は、自立と安心・安全な学習環境確保に繋がっています。これらの取り組み継続と、学生一人ひとりのニーズに合わせたきめ細やかな支援体制強化が望まれます。

就職支援は、他校動向を踏まえ早期からの対策が必要です。学生のキャリア形成支援のため、質の高い情報提供と個別相談機会充実が求められます。

評価基準5：特別活動等

☐ 概ね適切である

コメント

特別活動は、文化祭「タマハク」等を通じた地域交流が評価できます。特に障害者施設や留学生との連携は、多様性をテーマにした貴重な機会であり、地域貢献も大きいです。

一方で、クラブ活動活性化には、学生の主体性を尊重しつつ教員負担軽減策が必要です。学生の意見を積極的に取り入れ、ニーズに合った活動を企画することが重要です。また、クラブ活動の必要性を再検討し、参加意欲を高める工夫も求められます。

文化祭「タマハク」は、地域住民との連携強化と、多摩リハ学院の活動を広く理解してもらうための広報活動継続が望まれます。多様性をテーマにした定期的なイベント開催は、地域における多文化共生

推進に貢献できます。

評価基準 6：学修成果

☐ 概ね適切である

コメント

学修成果は、高い国家試験合格率、特に理学療法学科の 100%合格率が示すように、高く評価できます。学生一人ひとりの個性を尊重した指導と、退学率低減に向けた努力が成果に繋がっています。

一方で、学科ごとの合格率の差異や、多様化する学生への支援体制強化は課題です。教員負担の可視化と効率的な指導方法の検討、法人内職員の教育現場導入など、教育の質向上に向けた取り組みが期待されます。

アセスメントポリシーに基づく卒業後のキャリア形成支援は、学生にメリットがありますが、具体的な教育活動への落とし込みが課題です。計画の詳細化と効果的な実施方法の検討が必要です。

また、学生や卒業生のメンタルヘルスケア体制構築も重要です。在学中から卒業後まで継続的なサポート体制を整備し、安心して学べる環境を提供する必要があります。卒業生の追跡調査が困難な場合は、同窓会活動などを通じて繋がりを維持し、情報収集に努めるべきです。

評価基準 7：学生支援

☐ 適切である

コメント

学生支援は、経済的支援、キャリア形成支援、修学困難学生への支援など多岐にわたり適切です。特に、東京都産業労働局委託プログラム導入や多職種連携グループワークは、学生の専門性向上と実践力育成に大きく貢献しています。保護者との密な連携も学習意欲向上に繋がり、高く評価できます。

一方で、卒業生への支援や社会人ニーズに応じた教育環境整備は今後の課題です。卒業生のキャリアアップ支援や社会人の再教育プログラム充実など、更なる取り組みが求められます。

奨学金制度は、対象学生の選定方法を検討し、より公平かつ効果的な制度設計を目指すべきです。多摩リハの特色を生かした在学中・卒業後の支援を充実させ、ホームページ等で積極的に情報発信することで学生確保にも繋がられます。

健康管理体制には改善の余地があります。学生の心身の健康をサポートするため、専門家によるカウンセリング体制充実や健康教育プログラム導入などを検討すべきです。

多様化する学生への支援体制強化も重要です。特別支援学校の教員による研修など、教職員の専門性向上を図り、全ての学生が安心して学べる環境を提供する必要があります。

評価基準 8：教育環境

☐ 適切である

コメント

教育環境は、施設改修や最新機器導入、防災対策など多岐にわたり適切に整備されています。特にトイレ改修や最新機器導入は、学生の学習意欲向上と快適な学習環境提供に貢献しており、高く評価できます。

一方で、授業内容に適した教室配置最適化や、学生ラウンジなどの共用スペース充実など、更なる改善の余地があります。多様な学生ニーズに対応するため、施設・設備の定期的な見直しと、学生からの意見積極的な取り入れが重要です。

最新機器導入については、授業での積極的な活用を促すと共に、臨床現場での活用方法や代替手段の指導も行い、学生の実践力を高める必要があります。

防災訓練は、定期的な見直しと改善を行い、学生の防災意識向上に努めるべきです。また、実習施設の教育体制も定期的な検証を行い、質の高い実習環境を維持する必要があります。

評価基準 9：学生募集

☐ 概ね適切である

コメント

学生募集活動は、多岐にわたり積極的に展開されており、高く評価できます。特に、学費・生活支援制度や入試制度改革は、学生の入学促進に効果的です。

しかし、今後の発展のため、以下の点を検討願います。

- ①学びの成果が学生に具体的にどう影響するか、より明確に伝える工夫
- ②総合型選抜入試導入に伴う、学力を含めた多様な学生に対応できる教育・支援体制強化
- ③各種広報活動の入学への効果検証と、今後の戦略への活用
- ④介護学科での留学生受け入れ成功事例を参考に、他学科での留学生受け入れ検討
- ⑤都の委託訓練制度、教育訓練給付制度、介護福祉士修学資金等の積極的な広報

これらの検討により、更なる学生募集活動の発展を期待します。

評価基準 10：財務

☐ 適切である

コメント

貴校の財務管理は適切であり、ホームページでの財務情報公開や報告会等を通じて透明性が確保されています。特に、過去5年間の経常収支が黒字である点は高く評価できます。

今後の発展のため、以下の点を検討願います。

- ①財務安定性を強化するため、長期的な視点での予算・収支計画の策定
- ②ホームページで公開されている財務諸表の広報活動強化
- ③教職員が気軽に質問・意見を言える双方向的なコミュニケーションの場の設置

これらの検討により、更なる財務管理の向上と関係者への情報提供の充実を期待します。

評価基準 11：法令等の遵守

☐ 適切である

コメント

貴校の情報管理体制は、成績・出席状況の適切なシステム管理と個人情報保護、学生専用メールアドレス発行など、高く評価できます。

しかし、今後の発展のため、以下の点を検討願います。

- ①紙媒体管理の削減とシステム化によるセキュリティ強化と効率化の推進
- ②システム上での情報共有体制構築による職員間のスムーズな運営
- ③学生・教職員向け情報セキュリティ研修の定期的実施によるセキュリティ対策強化
- ④ICT化による学習状況共有促進と学生カルテのような電子管理システムの導入
- ⑤紙媒体管理の必要性を考慮しつつ、継続的な情報管理体制強化

これらの検討により、更なる情報管理体制の発展を期待します。

評価基準 12：社会貢献・地域貢献

☐ 概ね適切である

コメント

貴校は地域貢献活動に積極的に取り組み、地域社会との連携を深めている点を高く評価します。特に教職員の専門性を活かした活動は、地域社会の発展に大きく貢献しています。

今後の発展のため、以下の点を検討願います。

- ①学生のボランティア活動への奨励・支援強化による学生の地域貢献機会増加
- ②地域住民・関係機関との定期的な意見交換会やアンケート調査によるニーズ把握とニーズに合った取り組み実施
- ③地域スポーツイベントへのメディカルサポートとしての参画
- ④職員の負担過多にならないよう、活動内容・体制の見直しと継続可能な取り組みの推進
- ⑤地域住民が貴校の地域貢献活動をより深く理解し信頼を深められるよう、情報発信強化

これらの検討により、更なる地域貢献活動の発展を期待します。